

2026年10月15日
NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActorの自動化技術を活用した次世代RPA「AiActor」の製品化に着手 ～AIが手順を組み立て、RPAが確実に実行する新コンセプトを発表、 Japan DX & AX Week 秋 2026に参考出展～

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:伊東 匡)は、AIとのチャットを通じて依頼された業務の実行手順を組み立て、日々行うパソコン業務を自動化につなげる「AiActor™」(以下:本製品)の製品化に着手しました。

本製品は、WinActor®^{*1}の自動化技術を活用し、AIが自然な言葉からシナリオを生成することで、確実な実行を実現する新たなRPA製品です。

WinActorが業務プロセス全体の改善や自動化を支援するのに対し、AiActorは一人ひとりの日常業務の効率化に着目し、自動化をより身近なものとすることをめざした新たな製品です。

シナリオ設計の専門知識がなくても、現場担当者が自然な言葉で業務を任せられる点が最大の特長です。さらに、AIが生成したシナリオを画面上で確認できるため、どのような処理が実行されるかを把握したうえで自動化を利用できます。

本製品は、2026年10月21日(水)から23日(金)まで幕張メッセで開催される「Japan DX & AX Week 秋 2026」に参考出展し、開発中のコンセプトや利用イメージを初公開します。

1. 背景:AI活用が広がるなか、現場業務をより身近に自動化するニーズが高まる

多くの企業では、人手不足の深刻化を背景に、業務効率化や自動化による生産性向上への取り組みがますます重要になっています。

企業の現場では、データ入力やExcelへの転記、内容確認、社内システムへの登録、メール作成・送信といったパソコン業務が日々発生しています。RPAの活用により、こうした業務効率化が進んできました。

一方で、RPA活用は対象業務の整理やシナリオ設計が必要となるため、より多くの現場担当者が手軽に活用できる仕組みへの期待が高まっています。

また近年、生成AIやAIエージェントの活用が広がり、チャット形式で業務を依頼する新しい働き方への関心も高まっています。その一方で、実際の業務を安定的に実行するためには、RPAが持つ再現性・正確性・信頼性も引き続き重要視されています。

2. AiActorのコンセプト:AIが手順を組み立て、RPAが実行する新しい業務自動化

本製品は、日常業務の効率化に特化し、WinActorの自動化技術を活用して、AIが自然な言葉からシナリオを生成することで、業務自動化をより身近なものにすることをめざしています。

現場担当者にシナリオ作成のスキルがなくても、「こんなことを任せたい」「この作業は自動化したい」といったことをチャットで伝えるだけでAIが意図を理解して自動化シナリオを生成し、誰でも簡単に業

務を自動化できることをめざしています。

たとえば、経理担当者が「請求データを確認し、会計システムに登録した上で、集計結果をExcelへ出力してほしい」と依頼することで、AIが意図を理解し、自動化シナリオを生成し、業務を実行します。

また、一度作成した自動化シナリオは繰り返し活用できるため、AIによる柔軟な指示理解と、RPAならではの再現性・正確性を両立した業務自動化を実現します。

なお、本製品の実現を支える中核技術については、特許を出願中です。



新たな業務自動化コンセプトのイメージ

3. 展示会で紹介する内容:開発中のコンセプトと利用イメージを先行公開

「Japan DX & AX Week 秋 2026」では、本製品の開発中のコンセプトや、現場担当者が自然な言葉でチャットを使って日々のパソコン業務を自動化する利用イメージを紹介します。

- ・チャットを使って自然な言葉で業務を依頼する体験
- ・日常的なパソコン業務を自動化する利用イメージ
- ・AIが意図を理解し、自動化シナリオの作成や業務の実行につなげる新たな自動化の考え方

なお、本製品は開発中であるため、製品リリース時の仕様は、展示内容と異なる場合があります。

日本最大級のDX・AX総合展

Japan DX & AX Week 秋 2026

2026年10月21日(水)～23日(金)開催 | 幕張メッセ | 出展エリア

NTT AT

ホール:8 ブース番号:A38-6

AI・業務自動化展

参考出展

AiActor™
(製品開発中)

開発中のコンセプトを初公開

AIとRPAのそれぞれの強みを活かした
新たな業務自動化のあり方を提案します。

⚠ 本製品は開発中のため、展示内容は提供開始時の仕様と異なる場合があります。

4. 今後の展開: AiActorとWinActor、それぞれの役割を活かした業務自動化へ

本製品は、2027年春の提供開始をめざして開発を進めています。

今回の参考出展では、開発中のコンセプトや利用イメージを先行して紹介し、お客さまやパートナーのみなさまからいただくフィードバックをもとに、実際の業務で活用いただける製品をめざし開発を進めてまいります。

NTT-ATは今後も、日本市場で培ってきた豊富な導入実績や信頼性を背景に、WinActorの自動化技術を活用し、AIとRPAそれぞれの強みを活かした新たな業務自動化の実現に取り組んでまいります。

■出展概要

展示会名: Japan DX & AX Week 秋 2026

出展情報: [NTTアドバンステクノロジー 株式会社 - 出展社詳細](#)

会期: 2026年10月21日(水)～23日(金)

会場: 幕張メッセ

出展エリア: AI・業務自動化展

ホール: 8

ブース番号: A38-6

展示会出展に関する詳細は以下をご参照ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000393.000023654.html>

■関連サイト

NTT-ATの純国産RPA WinActor

[WinActor® | 業務効率を劇的にカイゼンできる純国産RPAツール](#)

<https://winactor.biz/>

*1 WinActorは、NTTグループが開発した純国産RPA(Robotic Process Automation)ツールです。多くの企業・団体で活用されており、国内導入企業数No.1^{*2}の実績を有するRPA製品です。

*2 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2026年版」P200 RPA 2025年度 市場占有率推移<パッケージ>(数量)

※WinActorはNTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

※本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

NTT アドバンステクノロジー株式会社

【商品に関するお問い合わせ先】

AiActor お問い合わせページ

(下記 WinActor 問い合わせフォームをご利用ください)

<https://winactor.biz/inquiry/winactor.html>

【報道関係のお問い合わせ先】

経営戦略室 経営企画部門

広報担当

後藤・根本

<https://www.ntt-at.co.jp/inquiry/koho/>